

保健婦メモ

一般健康診査結果報告

②

先月号にひきつづき、今回は各検診の受診率をだしてみまし。昭和六十二年度も、住民検診、一般健康診査を最後に、全部の検診が終わりました。六十二年度は①の様な受診結果となっていますが皆さんは、どの検診を受けられましたか。
受診率では、昭和六十一年度と六十二年度を比較すると、伸

率は横這い状況にあります。昨年は、婦人科検診、乳がん検診は、2倍以上の伸びがみられましたが、本年度は、その反動のためでしょうか急激な伸びはみられませんでした。よく勤務先で受けたとか、病院で受けたから町の検診は受けないという人が、近年よくみうけられます。一般健康診査では五、七、七名中二、五〇九人の方が、そういった理由で受けていません。ねたきりの人や、病気になるた人(結核やがんなど)を訪問すると、「今まで一度も検診を受けたことがない」「血圧を測ったことがないから

自分の血圧は知らない。」という人が、ほとんどです。検診を受けない人の中に、健康を害する人が多いようです。「自分だけは、大丈夫」という意識はやめ、ぜひ一年に一度の検診を受けましょう。
一般健康診査の結果、約半数が正常より高い血圧の人でした。血圧は、つい放置しがちですが、年2〜3回の血圧測定が必要です。毎月一日の午後一時三十分から保健センターで健康相談を行なっていますのでご利用ください。

二・三年前、「覚せい剤やめますか、それとも人間やめますか」という標語が話題を呼んだことがあります。「人間をやめる」という意表をついた表現がわたしたちをドキッとさせ、覚

手を出すな!

覚せい剤は
死への“片道切符”



せい剤の恐ろしさを改めて知らされました。

つまり、ひとたび覚せい剤に手を出すと反復使用は避けられず、やがて慢性中毒となり、身も心もむしばまれてしまう「破滅への片道切符」―それが覚せい剤なのです。

覚せい剤には絶対に手を出さないようにしましょう。

最近「注射」によるもののほか、飲用として密売されている場合(通称「金魚」)がありますので十分気を付けましょう。

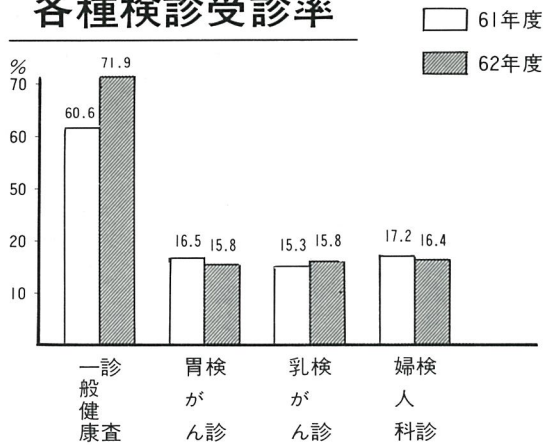
社

④1212内線154
①204503

簡易マザーズホーム

簡易マザーズホームとは、同じ年齢の子どもと比較して、言葉が遅い、首がすわらないとか、歩行が遅れているなど、心身に障害を持った就学前の児童の日常生活の基本的な動作の指導や、集団生活への適応訓練を行なうための施設です。
東金市、成田市、富里町に設置されていますので、通園を希望する方は住民福祉課福祉係にご相談ください。

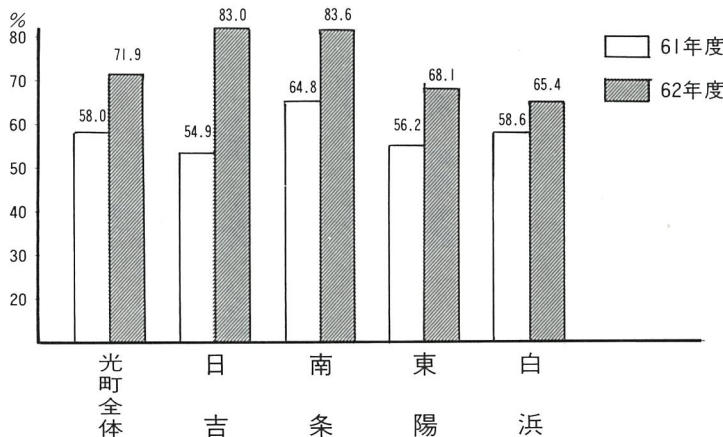
各種検診受診率



検診名	受診数		受診率	
	61年度	62年度	61年度	62年度
胃がん検診	692人	667人	16.5%	15.8%
乳がん検診	398	412	15.3	15.8
婦人科検診	446	426	17.2	16.4
一般健康診査	2,389	2,350	60.65	71.91

地区別一般健康診査受診率

①



乳児保育 延長保育

福

ただ今、町内四保育所で、来年度四月入所園児の募集を行なっています。満一歳に満たない乳児の保育も可能ですし、両親の仕事の都合で、夕方五時までに保育所にむかえに行けない場合には、六時まで保育時間を延長できる保育所もありますので、ご希望の方は、早めに役場住民福祉課福祉係までご相談ください。

